

全労金2021春季生活闘争ニュース・第5号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

全労金2021春季生活闘争にかける 単組闘争委員長の決意をみんなで共有しよう！

今号では、前号に引き続き、新型コロナウイルス感染症による厳しい環境の中でも力強く単組を率いる、単組闘争委員長のみなさんからの「全労金2021春季生活闘争にかける決意表明」を紹介します。闘争委員長の熱い思いをすべての組合員で共有しましょう！

◎東海労組・森本和之闘争委員長の決意

2021春季生活闘争は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、要求検討段階から、分散しての中央委員会開催や職場組織における意見集約、アンケートの実施、職場組織の役員との連携を深めるなど、工夫しながら組合員と議論を重ね、コロナ禍における春季生活闘争として組合員との合意形成を目指しました。

関連会社も含め、労働金庫で働くすべての役職員一人ひとりが、福祉金融機関の職員であることを実感し、「自信と誇りを持って」、「安心して働き続けられる環境」づくりを目指す必要があると認識します。

2021春季生活闘争は、例年以上に全国の仲間とともに闘う春季生活闘争であることを意識して、全国の仲間と思いをひとつに、全労金が掲げる方針に結集し、私たちが掲げた要求にこだわりを持って闘い抜きましょう。



◎近畿労組・小寺敏雄闘争委員長の決意

新型コロナウイルスが社会や経済、そして雇用に深刻な影響を及ぼしている厳しい状況の中、全国各地でろうきん運動・労働者自主福祉運動に献身的に取り組まれている組合員の皆さんに、心からの敬意と感謝を表します。

この1年間、私たちは未知のウイルスへの不安や恐怖心と向き合い、様々な制約にも対応しながら、社会で必要不可欠な金融業務を提供してきました。これからは、社会を守るための休業や営業自粛によって窮地に陥っている勤労者に寄り添い、生活を支援する福祉金融機関の役割を真に発揮する1年間になります。

その節目での2021春闘は、労金業態で働くすべての労働者の生命と健康を守り、安心して働き続けられる職場環境の実現に向けた重要な闘争になります。

近畿労組は、地域の感染状況や職場状況を鑑み、早期解決が至上命題との決意のもと、年間一時金に厳選した要求で統一闘争を展開していきます。

思いをひとつに、心は密に、ともに頑張りましょう。



◎中国労組・池田純一闘争委員長の決意

中国労組は、連合方針や全労金方針を踏まえ、2月5日開催した第2回中央委員会において「2021春季生活闘争方針」を全組合員の総意で確立しました。

すべての労働金庫労働者が働きがいや誇りを感じ、事業の原点である「労働者自主福祉運動」を展開し続けることができる職場環境の整備・処遇改善に取り組みます。

事業体を取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、事業計画の修正を行うことなく組合員が奮闘した結果、一定程度収益が確保されていることを踏まえ、中国労組は今後の金庫の継続・発展のためには誰一人として欠くことのできない「人財」への投資を求めると共に、社会的波及を期待し、回答期限日までに誠意ある回答を得られるよう、すべての組合員の思いを胸にし、強い信念を持って闘いに臨みます。

全国の仲間みなさん、今春闘で掲げる要求を実現できるよう、最後までともにがんばりましょう！



◎四国労組・土居純二闘争委員長の決意

全労金の旗のもとに集う、全国 9,000名の仲間の皆さん！ついに2021春季生活闘争の交渉がスタートしました。全国で一斉に経営側に対して要求書を提出し、「あたかも一つの単組」であるかのごとく同じ思いをもって闘争を展開していくという、全労金ならではの春季生活闘争です。

今春闘はコロナ禍という特殊な状況下ではありますが、私たち労働金庫事業体で働く労働者が、労働金庫事業の発展のため、労働者自主福祉運動の発展のために思う存分その力を発揮するためには、各単組が厳選に厳選を重ね、こだわりぬいた要求のすべてを勝ち取るほかありません。そして自分たちの職場の労働条件を維持・改善するという目的はもちろんのこと、それぞれの地域の労働条件改善を牽引していくという使命も全うするために、執行部・中間組織・職場の組合員それぞれの役割は違いますが、この春闘を勝利するという責任は全員が同じです。

全国の皆さん！今こそ思いをひとつに、心は密に！密に！密に！団結してともに頑張らしましょう！



◎九州労組・寺園裕次郎闘争委員長の決意

九州労組は、2021春季生活闘争を展開するにあたり、職員の働きがいの喚起やモチベーションの維持・向上を意識し、次年度の事業推進に邁進できる環境を整えることが、労働金庫事業の発展や、新型コロナウイルス感染症の影響下にある社会に対し、協同組織の福祉金融機関としての役割発揮に繋がると捉え、厳選した要求を掲げました。また、春季生活闘争は、次年度以降の賃金等諸労働条件の改善を図る場に留まらず、労使でお互いの意思を確認し合い、課題を共有することで「組織風土改革」に繋がる取り組みであると捉えています。

私たち組合員やすべての職員・社員が、労働者自主福祉運動の担い手として、九州労働金庫・九州ろうきんサービスで働くことに誇りを持ち、安全に安心して働き続けることのできる職場環境の実現に向けて、交渉に臨みます。

全組合員総意の下、そして全労金組織 9,000名の仲間とともに、要求の実現に向け、闘い抜く決意です。心は密に団結を！最後まで、共に頑張らしましょう！



◎沖縄労組・漢那宗大闘争委員長の決意

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を一変させました。これまでの日常とは違いソーシャルディスタンスが求められるなかで、様々な活動が制約を受け、不安や恐怖心を感じながら生活を送っていると思います。組合員の皆さんにおいては、その中にありながらも福祉金融機関に勤める者として、社会的使命を果たしていることに敬意と感謝を表します。

このような中で迎える2021春季生活闘争は、全労金組織全体で「新型コロナウイルス感染症の感染防止を含め、生命と健康を優先して取り組みを展開する」ことを掲げながら、個別要求課題に対して、同じ思いを持って闘う統一闘争となります。

沖縄労組は、共に働く仲間が安心して働き続けられる未来のためには「人への投資」が必要不可欠との認識のもと、全労金組織の仲間と共に闘っていることを強く意識し、要求した項目にこだわりをもち、最後まで闘う決意です。ともに頑張りましょう。



◎セントラル労組・蒲原俊之闘争委員長の決意

セントラル労組は2月16日に中央委員会を開催し、満場一致で春季生活闘争方針を確立しました。すべての組合員の年収水準の維持向上を図る観点から嘱託等職員の処遇改善（正職員との格差是正）や、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、組合員の健康を守るためのメンタルヘルスケア、育児等をしながらも安心して働き続けるための労使による環境整備、等を要求として掲げています。

コロナ禍における異例な状況下で、今までにない難しい闘いになることも想定されますが、こういった状況だからこそ、全労金統一闘争のもとで全国9,000名の労金労組の仲間と想いを一つに闘争を展開し、組織強化につなげていきたいと考えています。

そして、労金事業の更なる発展に向けて、組合員全員が労金業態で働くことへの誇り、やりがいを持って、安全・安心に働き続けられる職場環境を築けるよう、労使の認識を一致させ、最後まで粘り強く闘うことを表明し、決意とします。



※ 次号は3月1日（月）に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以 上

**【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と想いをひとつに！心は密に団結を！**